

# EU Indicators

## 欧州経済指標コメント：4-6月期ユーロ圏GDP速報

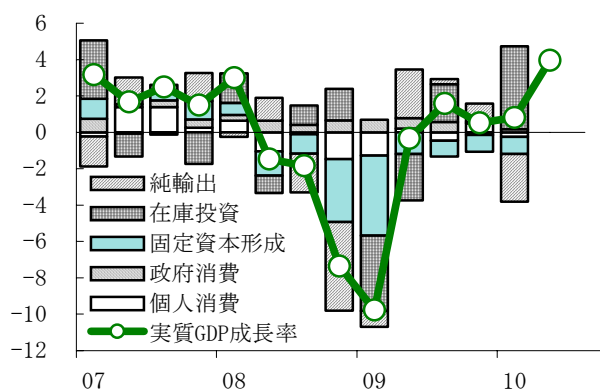
発表日：2010年8月13日(金)

～回復のモメンタムは4-6月期でピークアウト～

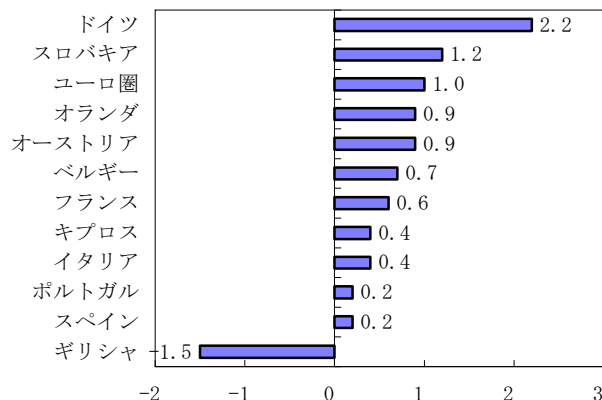
第一生命経済研究所 経済調査部  
主任エコノミスト 田中 理  
03-5221-4527

- 4-6月期のユーロ圏の実質GDP成長率（速報値）は前期比+1.0%と前期（同+0.2%）から成長ペースが大幅に加速し、4四半期連続のプラス成長を記録した。国別には、今回公表した11ヶ国のうち、ギリシャを除く全ての国がプラス成長（右図）。
- 需要項目別の内訳は9月2日に公表予定。既に内訳が公表された国をみると、フランスで個人消費、設備投資、在庫投資が景気拡大を主導、オーストリアで個人消費と外需が主導した。東西統一以降で最も高い成長となったドイツは各需要項目が押し並べて強いが、なかでも設備投資と外需が牽引。
- 月次指標の推移からは、7-9月期入り後も景気が拡大基調を続けていることが示唆される。だが、4-6月期の高成長からの減速は避けられず、在庫積み増しや外需の反動減が大きく現れる場合には、マイナス成長の可能性も否定できず。今後の海外需要の動向や在庫積み増しペースを確認したい。
- 今後も輸出回復に支えられて緩やかな景気の回復基調が持続する見通し。もっとも、世界的な景気回復ペースの鈍化、自動車買い替え支援など政策需要の一巡、財政再建に向けた各国の取り組みが今後さらに本格化することなどから、先行きの回復ペースは緩慢なものにとどまろう。

■ユーロ圏実質GDP成長率（前期比年率、%）



■2010年4-6月期の実質GDP成長率（前期比、%）



出所：Eurostat

出所：Eurostat

■ユーロ圏GDP（前期比年率<%>、括弧内は寄与度<%ポイント>）

	名目 GDP	実質 GDP	内需				外需			
			個人消費	政府支出	固定資本 投資	在庫	輸出	輸入		
09/1-3月期	▲ 9.6	▲ 9.8	(▲ 8.9)	▲ 2.2	3.4	▲ 19.5	(▲ 4.1)	(▲ 0.9)	▲ 29.7	▲ 28.4
09/4-6月期	▲ 0.6	▲ 0.3	(▲ 3.0)	▲ 0.3	2.7	▲ 5.7	(▲ 2.5)	(2.7)	▲ 4.5	▲ 10.7
09/7-9月期	2.3	1.6	(1.3)	▲ 0.8	2.6	▲ 4.3	(2.1)	(0.3)	12.0	11.5
09/10-12月期	0.7	0.5	(▲ 0.5)	0.9	▲ 0.6	▲ 4.6	(0.1)	(1.0)	7.3	4.8
10/1-3月期	2.3	0.8	(3.4)	▲ 0.4	0.8	▲ 4.8	(4.5)	(▲ 2.6)	8.8	16.1
10/4-6月期	—	3.9	—	—	—	—	—	—	—	—

出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。